News Release
〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル
三井住友海上プライマリー生命
MS&AD INSURANCE GROUP

２０１５年２月１３日

平成 26 年度　第３四半期業績のお知らせ

ＭＳ＆ＡＤインシュアランスグループの三井住友海上プライマリー生命保険株式会社（社長：北川鉄夫）の平成 26 年度第３四半期（平成 26 年４月１日～平成 26 年 12 月 31 日）の業績についてお知らせします。

【収入保険料】

上半期に引き続き、販売好調を維持した結果、収入保険料は前年同期比 34.1％増の 7,637 億円と、第３四半期として開業以来最高の実績となりました。（グラフ１参照）

【契約および総資産の状況】

保有契約件数は前年度末比 9.2％増の 590 千件、保有契約高は前年度末比 10.8％増の４兆 4,578 億円と順調に増加しました。（グラフ２参照）

これに伴い、総資産は前年度末から 12.5％増加し４兆 6,837 億円となりました。

【損益の状況】

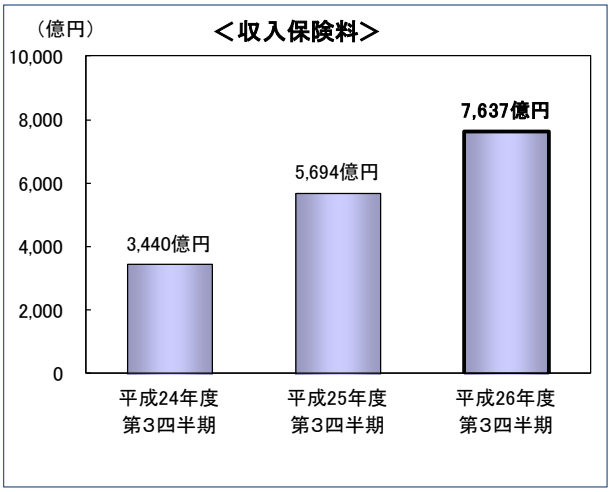
好調な販売に伴い代理店手数料等が増加する中、効率的な業務運営に努め、四半期純利益（税引後）は 156 億円となりました。

【健全性の状況】

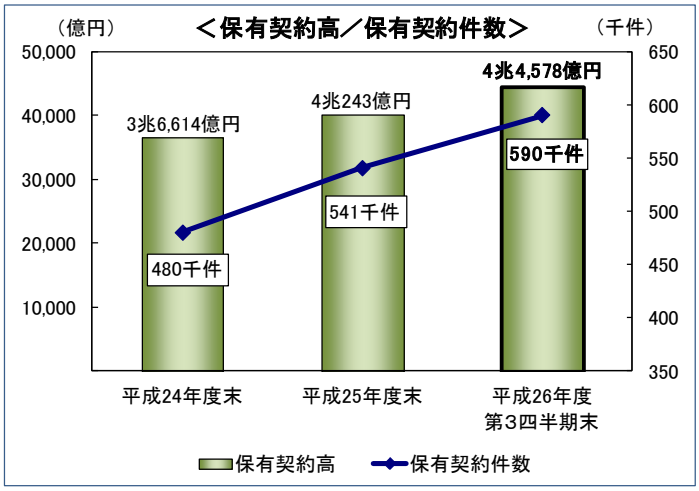
ソルベンシー・マージン比率は 870.3％となり、十分な支払余力を維持しています。また、格付会社からは引き続き高い格付けを取得しています。（平成 27 年２月 13 日現在）

スタンダード・アンド・プアーズ（Ｓ＆Ｐ）	保険財務力格付け	Ａ＋
格付投資情報センター（Ｒ＆Ｉ）	保険金支払能力格付け	ＡＡ－

（ｸﾞﾗﾌ1）



（ｸﾞﾗﾌ2）



以　上

平成２７年２月１３日
三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

平成２６年度第３四半期報告

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社（社長　北川　鉄夫）の平成２６年度第３四半期（平成２６年４月１日～平成２６年１２月３１日）の業績は添付のとおりです。

＜目　次＞

１．主要業績　……１頁

２．資産運用の実績（一般勘定）　……２頁

３．四半期貸借対照表　……４頁

４．四半期損益計算書　……５頁

５．経常利益等の明細（基礎利益）　……７頁

６．ソルベンシー・マージン比率　……８頁

７．特別勘定の状況　……９頁

８．保険会社及びその子会社等の状況　……９頁

以　上

１．主要業績

（１）保有契約高及び新契約高

・保有契約高　　（単位：千件、億円、％）

区　分	平成２５年度末		平成２６年度 第３四半期会計期間末			
	件　数	金　額	件　数		金　額	
				前年度末比		前年度末比
個人保険	175	10,734	244	139.6	14,981	139.6
個人年金保険	365	29,509	345	94.6	29,597	100.3
団体保険	―	－	―	―	－	－
団体年金保険	―	－	―	―	－	－

（注）個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資（ただし、個人変額年金保険については保険料積立金）と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

・新契約高　　（単位：千件、億円、％）

区　分	平成２５年度 第３四半期累計期間				平成２６年度 第３四半期累計期間					
	件数	金　額			件数		金　額			
			新契約	転換による純増加		前年同期比		前年同期比	新契約	転換による純増加
個人保険	80	4,278	4,278	－	114	142.3	6,216	145.3	6,216	－
個人年金保険	19	1,206	1,206	－	21	110.4	1,229	101.9	1,229	－
団体保険	―	－	－	―	―	―	－	－	－	―
団体年金保険	―	－	－	―	―	―	－	－	－	―

（注）個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資（ただし、個人変額年金保険については契約時の保険料積立金）です。

（２）年換算保険料

・保有契約　　（単位：百万円、％）

区　分	平成２５年度末	平成２６年度 第３四半期 会計期間末	前年度 末比
個人保険	70,148	97,835	139.5
個人年金保険	384,155	362,093	94.3
合計	454,303	459,928	101.2
うち医療保障・生前給付保障等	105	109	103.7

・新契約　　（単位：百万円、％）

区　分	平成２５年度 第３四半期累計期間	平成２６年度 第３四半期累計期間	前年 同期比
個人保険	28,229	41,776	148.0
個人年金保険	92,199	90,416	98.1
合計	120,428	132,192	109.8
うち医療保障・生前給付保障等	－	－	－

（注）１．年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。

２．「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

２．資産運用の実績（一般勘定）

（１）資産の構成

（単位：百万円、％）

区　　分	平成２５年度末		平成２６年度 第３四半期会計期間末	
	金　額	占　率	金　額	占　率
現預金・コールローン	44,319	2.7	213,874	10.5
買現先勘定	－	－	－	－
債券貸借取引支払保証金	－	－	－	－
買入金銭債権	－	－	－	－
商品有価証券	－	－	－	－
金銭の信託	680,806	42.2	605,292	29.8
有価証券	796,831	49.4	1,120,738	55.2
公社債	133,591	8.3	98,008	4.8
株式	－	－	－	－
外国証券	663,237	41.1	1,022,727	50.4
公社債	663,237	41.1	1,022,727	50.4
株式等	－	－	－	－
その他の証券	1	0.0	2	0.0
貸付金	448	0.0	492	0.0
不動産	298	0.0	252	0.0
繰延税金資産	34,002	2.1	31,268	1.5
その他	55,348	3.4	58,455	2.9
貸倒引当金	－	－	－	－
合計	1,612,056	100.0	2,030,374	100.0
うち外貨建資産	1,365,254	84.7	1,676,622	82.6

（注）不動産については有形固定資産のうち建物の金額を計上しております。

（２）有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

（単位：百万円）

区分	平成２５年度末					平成２６年度第３四半期会計期間末				
	帳簿価額	時価	差損益			帳簿価額	時価	差損益		
				差益	差損				差益	差損
満期保有目的の債券	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
責任準備金対応債券	748,486	745,075	△ 3,410	4,025	△ 7,435	1,003,070	1,093,114	90,043	90,050	△ 6
子会社・関連会社株式	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他有価証券	132,522	133,593	1,070	1,079	△ 8	268,288	278,243	9,955	9,998	△ 43
公社債	132,521	133,591	1,069	1,078	△ 8	96,110	98,008	1,897	1,907	△ 10
株式	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
外国証券	－	－	－	－	－	148,960	156,719	7,759	7,792	△ 33
公社債	－	－	－	－	－	148,960	156,719	7,759	7,792	△ 33
株式等	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他の証券	1	1	0	0	－	1	2	1	1	－
買入金銭債権	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
譲渡性預金	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	23,216	23,513	297	297	－
合計	881,008	878,669	△ 2,339	5,104	△ 7,443	1,271,359	1,371,358	99,998	100,048	△ 49
公社債	132,521	133,591	1,069	1,078	△ 8	96,110	98,008	1,897	1,907	△ 10
株式	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
外国証券	663,237	659,756	△ 3,481	3,954	△ 7,435	1,014,968	1,108,588	93,620	93,660	△ 39
公社債	663,237	659,756	△ 3,481	3,954	△ 7,435	1,014,968	1,108,588	93,620	93,660	△ 39
株式等	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他の証券	1	1	0	0	－	1	2	1	1	－
買入金銭債権	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
譲渡性預金	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	85,248	85,319	70	70	－	160,279	164,759	4,479	4,479	－

（注）１．本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。
２．金銭の信託のうち売買目的有価証券以外のものを含み、その帳簿価額、差損益は、それぞれ、平成２５年度末は85,248百万円、70百万円、平成２６年度第３四半期会計期間末は160,279百万円、4,479百万円です。

なお、時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は保有しておりません。

（３）金銭の信託の時価情報

（単位：百万円）

区分	平成２５年度末					平成２６年度第３四半期会計期間末				
	貸借対照表計上額	時価	差損益			貸借対照表計上額	時価	差損益		
				差益	差損				差益	差損
金銭の信託	680,806	680,877	70	70	－	605,292	609,474	4,182	4,182	－

・運用目的の金銭の信託

（単位：百万円）

区分	平成２５年度末		平成２６年度第３四半期会計期間末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
運用目的の金銭の信託	595,558	△ 8,578	444,715	42,365

・満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託

（単位：百万円）

区分	平成２５年度末					平成２６年度第３四半期会計期間末				
	帳簿価額	時価	差損益			帳簿価額	時価	差損益		
				差益	差損				差益	差損
満期保有目的の金銭の信託	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
責任準備金対応の金銭の信託	85,248	85,319	70	70	－	137,062	141,245	4,182	4,182	－
その他の金銭の信託	－	－	－	－	－	23,216	23,513	297	297	－

３．四半期貸借対照表

（単位：百万円）

科目＼期別	平成２５年度末 要約貸借対照表 （平成２６年３月３１日現在）	平成２６年度 第３四半期会計期間末 （平成２６年１２月３１日現在）
	金額	金額
（資産の部）		
現金及び預貯金	40,523	60,931
コールローン	7,191	158,341
金銭の信託	680,806	605,292
有価証券	3,350,422	3,776,856
（うち国債）	（131,735）	（55,258）
（うち地方債）	（1,856）	（9,432）
（うち社債）	（－）	（33,317）
（うち外国証券）	（663,237）	（1,022,727）
貸付金	448	492
保険約款貸付	448	492
有形固定資産	945	784
無形固定資産	3,696	4,140
再保険貸	269	161
その他資産	45,368	45,512
繰延税金資産	34,002	31,268
資産の部合計	4,163,675	4,683,780
（負債の部）		
保険契約準備金	3,993,094	4,474,871
支払備金	10,819	10,499
責任準備金	3,982,275	4,464,372
代理店借	7,075	8,326
再保険借	2,552	2,913
その他負債	31,610	47,329
未払法人税等	1,711	－
リース債務	688	565
資産除去債務	125	127
その他の負債	29,085	46,636
価格変動準備金	40,136	41,362
負債の部合計	4,074,470	4,574,804
（純資産の部）		
資本金	41,060	41,060
資本剰余金	24,735	24,735
資本準備金	24,735	24,735
利益剰余金	22,669	36,290
利益準備金	－	399
その他利益剰余金	22,669	35,890
繰越利益剰余金	22,669	35,890
株主資本合計	88,464	102,085
その他有価証券評価差額金	741	6,890
評価・換算差額等合計	741	6,890
純資産の部合計	89,205	108,976
負債及び純資産の部合計	4,163,675	4,683,780

４．四半期損益計算書

（単位：百万円）

科目＼期別	平成２５年度 第３四半期累計期間 （平成２５年４月１日から 平成２５年１２月３１日まで）	平成２６年度 第３四半期累計期間 （平成２６年４月１日から 平成２６年１２月３１日まで）
	金額	金額
経常収益	962,298	1,239,376
保険料等収入	571,840	765,045
（うち保険料）	(569,418)	(763,797)
資産運用収益	385,959	471,844
（うち利息及び配当金等収入）	(2,928)	(30,849)
（うち金銭の信託運用益）	(5,140)	(97,603)
（うち有価証券売却益）	(0)	(17,904)
（うち特別勘定資産運用益）	(373,183)	(303,102)
その他経常収益	4,498	2,486
（うち支払備金戻入額）	(2,564)	(320)
経常費用	926,886	1,219,055
保険金等支払金	609,703	678,522
（うち保険金）	(38,103)	(39,071)
（うち年金）	(38,469)	(44,203)
（うち給付金）	(137,806)	(125,827)
（うち解約返戻金）	(372,361)	(443,045)
（うちその他返戻金）	(1,368)	(1,819)
責任準備金等繰入額	271,152	482,097
責任準備金繰入額	271,152	482,097
資産運用費用	864	367
（うち支払利息）	(0)	(0)
（うち金融派生商品費用）	(389)	(174)
事業費	40,633	51,202
その他経常費用	4,532	6,865
経常利益	35,411	20,321
特別損失	900	1,237
固定資産等処分損	1	12
価格変動準備金繰入額	899	1,225
税引前四半期純利益	34,510	19,083
法人税等	11,696	3,462
四半期純利益	22,814	15,620

注記事項

（四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係）

平成26年度第３四半期会計期間末
１．四半期特有の会計処理 税金費用の計算 税金費用については、主として、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない差異の金額が重要な場合にはその金額を加減した上で法定実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、「法人税等」 に含めて表示しております。 ２．消費貸借契約により貸し付けている有価証券の貸借対照表価額は76,395百万円であります。 ３．配当金支払額 平成26年５月16日の取締役会において、以下のとおり決議しております。 配当金の総額　1,999百万円 １株当たり配当額　151,973円71銭 基準日　平成26年３月31日 効力発生日　平成26年６月６日

（四半期損益計算書関係）

平成26年度第３四半期累計期間
１．１株当たりの四半期純利益は1,187,072円55銭であります。なお、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

５．経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成２５年度 第３四半期累計期間	平成２６年度 第３四半期累計期間
基礎利益　A	47,130	△ 6,721
キャピタル収益	20,417	114,929
金銭の信託運用益	－	74,640
売買目的有価証券運用益	－	－
有価証券売却益	0	17,904
金融派生商品収益	－	－
為替差益	4,706	22,383
その他キャピタル収益	15,710	－
キャピタル費用	24,351	81,845
金銭の信託運用損	23,962	－
売買目的有価証券運用損	－	－
有価証券売却損	－	－
有価証券評価損	－	－
金融派生商品費用	389	174
為替差損	－	－
その他キャピタル費用	－	81,670
キャピタル損益　B	△ 3,934	33,083
キャピタル損益含み基礎利益　A＋B	43,196	26,362
臨時収益	－	－
再保険収入	－	－
危険準備金戻入額	－	－
個別貸倒引当金戻入額	－	－
その他臨時収益	－	－
臨時費用	7,784	6,041
再保険料	－	－
危険準備金繰入額	7,784	6,041
個別貸倒引当金繰入額	－	－
特定海外債権引当勘定繰入額	－	－
貸付金償却	－	－
その他臨時費用	－	－
臨時損益　C	△ 7,784	△ 6,041
経常利益　A＋B＋C	35,411	20,321

（注）１．基礎利益には、次の金額が含まれております。

	平成２５年度 第３四半期 累計期間	平成２６年度 第３四半期 累計期間
金銭の信託運用益のうちインカムゲイン部分	29,102	22,962
定額商品の負債にかかる評価部分調整額	△ 15,710	81,670

２．その他キャピタル収益には、次の金額が含まれております。

	平成２５年度 第３四半期 累計期間	平成２６年度 第３四半期 累計期間
定額商品の負債にかかる評価部分調整額	15,710	－

３．その他キャピタル費用には、次の金額が含まれております。

	平成２５年度 第３四半期 累計期間	平成２６年度 第３四半期 累計期間
定額商品の負債にかかる評価部分調整額	－	81,670

６．ソルベンシー・マージン比率

（単位：百万円）

項　　目	平成２５年度末	平成２６年度 第３四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額　（Ａ）	347,258	337,327
資本金等	86,464	102,085
価格変動準備金	40,136	41,362
危険準備金	64,460	70,501
一般貸倒引当金	－	－
その他有価証券の評価差額×９０％（マイナスの場合１００％）	963	8,959
土地の含み損益×８５％（マイナスの場合１００％）	－	－
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	146,219	98,458
負債性資本調達手段等	－	－
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	－	－
持込資本金等	－	－
控除項目	－	－
その他	9,013	15,959
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4$　（Ｂ）	69,128	77,517
保険リスク相当額　R1	62	43
第三分野保険の保険リスク相当額　R8	13	11
予定利率リスク相当額　R2	26,207	31,741
最低保証リスク相当額　R7	11,581	7,458
資産運用リスク相当額　R3	29,982	36,796
経営管理リスク相当額　R4	1,356	1,521
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2)\times(B)}\times 100$	1,004.6%	870.3%

（注）１．上記は、保険業法施行規則第８６条、第８７条及び平成８年大蔵省告示第５０号の規定に基づいて算出しています。

２．最低保証リスク相当額の算出に関しては、標準的方式を用いております。

＜参考＞実質資産負債差額

（単位：百万円）

項　　目	平成２５年度末	平成２６年度 第３四半期 会計期間末
(１)資産の部に計上されるべき金額の合計額	4,160,265	4,773,824
(２)負債の部に計上されるべき金額の合計額を基礎として計算した金額	3,823,323	4,361,417
実質資産負債差額　(１)-(２)	336,941	412,407

（注）上記は、保険業法第１３２条第２項に規定する区分等を定める命令及び平成１１年金融監督庁・大蔵省告示第２号の規定に基づいて算出しております。

７．特別勘定の状況

（１）特別勘定資産残高の状況

（単位：百万円）

区　　分	平成２５年度末	平成２６年度 第３四半期会計期間末
個人変額保険	128,718	228,288
個人変額年金保険	2,430,283	2,434,990
団体年金保険	－	－
特別勘定計	2,559,002	2,663,279

（２）保有契約高

・個人変額保険　（単位：千件、百万円）

区　　分	平成２５年度末		平成２６年度 第３四半期会計期間末	
	件　数	金　額	件　数	金　額
変額保険（有期型）	－	－	－	－
変額保険（終身型）	13	136,814	29	222,739
合　　計	13	136,814	29	222,739

・個人変額年金保険　（単位：千件、百万円）

区　　分	平成２５年度末		平成２６年度 第３四半期会計期間末	
	件　数	金　額	件　数	金　額
個人変額年金保険	285	2,422,386	269	2,436,144
合　　計	285	2,422,386	269	2,436,144

８．保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。

（添付）

２０１５年2月１３日
三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

平成２６年１２月末時点について、金融安定化フォーラム（ＦＳＦ）の報告書に示された先進的開示例に基づき、証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況について開示いたします。

なお、以下に記載の実現損益は、平成２６年４月～平成２６年１２月の損益です。

【投資状況】

１．特別目的事業体（SPEs）一般

特別目的事業体（SPEs）への投資はありません。

２．債務担保証券（CDO）一般

債務担保証券（CDO）への投資はありません。

３．その他のサブプライム・Alt-A エクスポージャー

サブプライム・Alt-A エクスポージャーを裏付資産とした証券化商品等への投資はありません。

４．商業用不動産担保証券（CMBS）　（単位：億円）

	格　付	時　価	参考：平成26年3月末	含み損益	実現損益
商業用不動産担保証券（CMBS）		38.4	42.4	－	5.6
日本		－	－	－	－
米国		38.4	42.4	－	5.6
	ＡＡＡ	38.4	30.5	－	5.6
	ＡＡ	0.0	11.9	－	0.0
	Ａ	0.0	0.0	－	0.0
	ＢＢＢ以下	0.0	0.0	－	0.0
欧州		－	－	－	－
豪州		－	－	－	－
その他		－	－	－	－

・　裏付資産は米国の商業用不動産（オフィス、商業施設、倉庫、賃貸住宅、ホテル等）です。

・　上記は売買目的有価証券に区分しているため、評価損益はすべて実現損益に含まれますので、含み損益はありません。なお、上記の実現損益のうち、当年度の現地通貨ベースでの評価損益は△2.1 億円、為替の変動に係る評価損益は 7.6 億円です。（当該資産は外貨建て定額年金保険に対応する運用資産の一部であり、ALM 上、資産側と負債側の通貨をマッチングさせていることから為替に係る評価損益は相殺される構造となっており、当年度損益への大きな影響はありません。）

５．レバレッジド・ファイナンス

レバレッジド・ファイナンスへの投資はありません。

６．その他　　（単位：億円）

		時　価		含み損益	実現損益
	格　付		参考:平成26年3月末		
その他		54.5	68.2	－	9.2
ABS　(ｶｰﾄﾞﾛｰﾝ・自動車ﾛｰﾝ担保等)		48.7	62.6	－	9.1
	ＡＡＡ	48.7	62.6	－	9.1
	ＡＡ	－	－	－	－
	Ａ	－	－	－	－
	ＢＢＢ以下	－	－	－	－
MBS　(住宅ﾛｰﾝ担保等)		5.8	5.6	－	0.2
	ＡＡＡ	5.8	5.6	－	0.2

・　サブプライムローン関連のエクスポージャーはありません。

・　上記は売買目的有価証券に区分しているため、評価損益はすべて実現損益に含まれますので、含み損益はありません。なお、上記の実現損益のうち、当年度の現地通貨ベースでの評価損益は△2.1 億円、為替の変動に係る評価損益は 11.4 億円です。(当該資産は外貨建て定額年金保険に対応する運用資産の一部であり、ALM 上、資産側と負債側の通貨をマッチングさせていることから為替に係る評価損益は相殺される構造となっており、当年度損益への大きな影響はありません。)

※上記の時価の金額は、当社の貸借対照表上の「金銭の信託」に含まれている金額です。

※上記の実現損益の金額は、当社の損益計算書上の「金銭の信託運用益」に含まれている金額です。

※投資信託については開示対象から除いております。

以　上